

## 白石農園の概要

1. 経営 農地面積140アール（内ハウス10アール）＝すべて生産緑地
  - ・労働力・・・・・・・・・・4名＋パート1名＋精神障害者2名＋援農
  - ・農業体験農園・・・・・・・・55アール
  - ・野菜生産・・・・・・・・・・65アール
  - ・ブルーベリー摘み取り園・20アール
2. 生産野菜の出荷先（市場出荷なし）
  - ・農園での直接販売・JA直売所2カ所
  - ・スーパー（ライフ・ヨークマート・ファミリーマート）で委託販売（委託料20%程度）
  - ・併設レストラン他飲食店12件
  - ・学校給食3校など
3. 体験農園「大泉 風のがっこう」（野菜づくりのカルチャースクール）
  - ・利用者数・・・・・・・・・・55アールで、134組の利用者を受入
  - ・一区画の面積・・・・・・・・30㎡
  - ・利用料・・・・・・・・・・年間50,000円（練馬区民は区の助成があり38,000円）
  - ・必要な農具、資材種・・肥料・農薬・農機具等、すべてこちらで用意する
  - ・運営・・・・・・・・・・講習会を中心に指導し、年間をとおして約30種類の野菜を生産体験する
  - ・利用者募集・・・・・・・・主練馬区報、口コミ等
  - ・練馬方式農業体験農園・練馬区内で16件、東京都内で70件、全国で140件が開設
  - 経営のメリット・・・・・・・・収入の安定と労力の軽減、農業のやりがいを感じる、農業理解の醸成
  - 利用者のメリット・・・・・・経験のない人でも農家並みの収穫・月額約4200円の家族で楽しめる趣味
  - 行政のメリット・・・・・・自治体が自ら市民農園を運営するより安上がり。住民サービスの充実
  - 農地法・税制・・・・・・・・税制面での優遇（相続税・固定資産税）
4. 生産活動と関連した取り組み
  - ・練馬大根の伝来種保存と種子生産
  - ・地域の小中学校の生徒を農業体験で受け入れ（練馬大根の生産体験・近隣の小学校3校）
  - ・減農薬減化学肥料栽培への取り組み
5. 精神障害者社会適応事業による訓練生の受け入れ
  - ・統合失調症・うつ病等精神障害者の社会復帰訓練
6. レストラン「La毛利」を設置
7. 「NPO法人畑の教室」の活動
  - ・地域の子どもたちに農業体験を進める活動を行っている
  - ・練馬大根の生産とたくあん漬け体験
  - ・小麦の収穫と、うどん打ち体験
  - ・社会科見学や職場体験の受け入れ
8. これからの都市農業
  - ・平成27年制定の「都市農業振興基本法」によって都市農業が位置づけられた
  - ・都市農業は、生産者と消費者・農村と都市をつなぐ役割がある
  - ・国・都・区、行政との連携を大切にしたい

